

## 講座の狙い

企業秘密漏洩、損害賠償、刑事訴訟など、思いがけず当事者になってしまう可能性が高くなってきた。多くのリスクを認識し、それを未然に防ぐことがあなたを守り、会社の利益にもつながる。

## リスクマネジメント

目的：金銭的被害の最小化

リスク

= 発生確率 × 被害規模  
(潜在的なもの)

分析

対応

リスクの削減 = 予防措置  
リスクの移転 = 保険  
リスクの回避  
リスクの保有

## 対象

・研究・開発・生産技術部門の技術者、管理者、プロセス改善推進者

## ニーズ

・技術者を取りまく環境で、企業秘密漏洩、損害賠償、刑事訴訟など突然、当事者になってしまうようになってきた。

## 特色

・リスクマネジメントの意味と考え方の体系を学べる。  
・現場で遭遇する判断の難しい課題に、的確な判断ができる。

## プログラム & 開催期間

・1日間コース(20名前後 / 回)

## プログラム例

はじめに

- 1 最近の企業不祥事
    - 1.1 中華航空機爆発炎上事故
    - 1.2 賞味期限切れ材料問題
    - 1.3 リチウムイオン電池問題
    - 1.4 ジェットコースター事故
    - 1.5 シュレッダー事故
  - 2 リスクとその対応策
    - 2.1 リスクとは  
演習
    - 2.2 リスクマネジメントと危機管理
    - 2.3 リスク分析とリスク評価
    - 2.4 技術者倫理とは
  - 3 リスク分析と効果的な対応策
    - 3.1 リスク分析のプロセス
    - 3.2 マイナス影響要因
    - 3.3 重点管理項目とその選び方
    - 3.4 リスク分析ワークシートとその使い方
    - 3.5 リスク分析のケーススタディ 演習
    - 3.6 フェールセーフ 演習
    - 3.7 フールプルーフ 演習
    - 3.8 FMEA
    - 3.9 FTA
    - 3.10 イベントツリー  
演習
- おわりに